

K. M. 2025年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

私は2021年に入学し、ボン・ジョーノ実習、廣川ゼミに所属していました。ボン・ジョーノ実習は、まだ実習として確立して時間が浅く、チームマネジメントや地域住民との連携の仕方など様々な面で苦悩したことを覚えています。2年次には副リーダーを務めさせていただきました。リーダーとメンバーを繋ぐ副リーダーという立場について、フォローシップとは何かを学ぶことができました。入学してから間もなく始まった実習活動は、知識・経験が不足している中でコロナ渦の縛りもあり、メンバーそれぞれが葛藤を抱えながら精一杯頑張っていました。改めて自分自身を見直し、仲間の大切さに気付くことができました。実習での2年間は、スキル面でもメンタル面でもその後の大学生活の基盤ができた時間だったと思っています。

ゼミ活動について、私が所属した廣川ゼミはその年のゼミ希望調査で一番人気のゼミでした。廣川先生の授業を受けて先生の考え方に共感でき、憧れの先輩はみんな廣川ゼミだったことから、私も絶対入りたい！と意気込んでいました(笑)3年間のゼミ活動で、フットパスを活用した地域創生について学びました。私はその中でも、学年ゼミの時間が大好きでした。廣川ゼミは「対話をしながら学ぶ」というスタイルだったので、地域について、各々が持ち寄った本、チームの状況など、様々な物事に対してそれぞれの意見を述べ合いました。たまに衝突することもありましたが、それだけみんなが真剣に議論をして考えを深め合い、最適解を探していきました。教室にとどまらず、フットパスをしたり、合宿をしたり、五感全てを使って学ぶことができたゼミ活動でした。

実習やゼミだけではなく、ここには書ききれないほどたくさんの経験をし、毎日が発見の連続のような大学生活を過ごさせていただきました。一緒に頑張ってきた仲間、悩んだときはいつも道標でいてくださった先生、自分自身の変化や成長、人生において貴重な出会い・経験だったと思っています。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

私は卒業後、ジャパネットホールディングスに入社しました。長崎市にある、「長崎スタジアムシティ」で働いています。長崎スタジアムシティは、サッカースタジアム・アリーナ・ホテル・商業施設・オフィスからなる大型複合施設です。私はその中で、ホテル営業の役割を担っています。入社から8か月が経ち、まだまだ分からないことだらけで毎日大変です。私は数字が苦手で、論理的な思考も得意ではありません。しかし、営業職に配属されてからは、毎日ホテルの売り上げ推移を確認したり、お客様にお金を払う価値があると思ってもらえるように、根拠が明確に伝わる説明をする必要があります。大学生までは、自分の好きなことをして得意分野を伸ばすことができましたが、社会人になってからは、自分がチームや社会にもたらす影響の範囲を広く捉え、時には納得のいかない業務も責任をもってやり遂げなければいけません。

社会に出てってこういうことなのか、、、とネガティブな気持ちになってしまうこともあります。地創で培った経験やスキルは確実に生きています。コミュニケーション力はもちろん、ある程度どのような状況にも対応できる度胸と適応力、地創で過ごした4年間の自分がいつも背中を押してくれます！私はまだ毎日に精一杯で将来のビジョンは明確にできていませんが、北九州で学んだ地域創生を活かして、長崎を盛り上げていきたいと思っています！！

現役生へのメッセージ

大学生活、楽しんでますか??実習やゼミにアルバイト、慌ただしい毎日を過ごしているひとが多いと思います。忙しい日々の中で目の前にあるものを乗り越えることに必死だと思います。いまの私にとって、原動力の一つは地創での出会いと、大学生活における自分に対する自信です。地創でたくさんの人に支えられながら頑張ってきた自分ならやれる！という思いで過ごしています。大変な毎日だと思いますが、いつか皆さんが振り返ったときに、背中を押してくれるような思い出になります。大学生活は、人生でいちばん自由な時間なので精一杯楽しんでほしいです！！

(2025年11月30日執筆)



廣川ゼミの高大連携班に所属し、「地域創生における次世代の人材育成」を目的に年間10回ほど授業を行いました。教壇に立ち、より良い伝え方を習得する経験ができました。



仲が良い同期と一緒に毎日頑張っています！地創で過ごした4年間で得た、組織内で円滑にコミュニケーションをとる力は、チームで働く中でとても役に立っています。